



〒666-0121
兵庫県川西市平野1-39-1
医療法人協和会 協立記念病院
広報・連携委員会
TEL. 072-792-1301
FAX. 072-792-2341
URL: <http://www.kyowakai.com/>

今年も沢山の新入職員を迎えました

2023年4月1日、新年度始まりの日に総勢39名もの新入職員が協立記念病院の新たな仲間として入職しました。職種を越えた合同研修では、社会人として、医療人としての心得を学びました。研修中は新人ばかりなので、緊張しつつも比較的リラックスしていましたが、いざ研修を終えるとそれぞれの部署に配属されます。今年度は、看護部28名、理学療法科3名、作業療法科2名、言語聴覚科1名、栄養科1名、医事課2名、地域医療連携室1名、診療情報管理課1名が配属され、緊張しながらも専門職としての業務をスタートしました。学生時代からアルバイトとしてお手伝いに来ていた留学生さんからも1名、職員として迎えることが出来ました。出身地も国籍も様々ですが、皆「一日も早く仕事に慣れたい」「患者様や家族様に信頼される職員になりたい」と熱い志は同じです。先輩職員に優しく時には厳しく指導してもらい、また同期職員とは相談し協力し合いながら、日々学び成長しております。一方で、既に協立記念病院でキャリアがある職員たちにとっても、毎年迎える新入職員の真摯なまなざしや姿勢は、「初心に戻る」良いきっかけとなっております。

新旧共に刺激し合って、より良い職場作りを目指してまいりますので宜しくお願い申し上げます。



看護部長よりご挨拶



2023年4月1日、新入職員と共に看護部長として着任いたしました。青山 りかと申します。1997年より市立川西病院へ就職し、2020年医療法人協和会協立病院、2022年川西市立総合医療センターの勤務を経て参りました。長年急性期の病院で従事しており沢山の患者さんを地域より受入関わってまいりました。今回初めて慢性期の病院に携わり、今後は安寧な療養生活を支援し、地域と密着した地域包括ケアを実践したいと思います。コロナ感染症も5類対応に変わり閉塞的であった社会も少しずつ変化してきています。コロナ禍前の様な四季折々のイベントなどを開催し、開放的で明るい病院に早く戻る事を祈っています。そのためには、病院職員が元気にたくましく働ける職場づくりに奮起したいと思います。どうぞご支援よろしくお願い致します。

回復期リハビリテーション病棟の紹介

「回復期リハビリテーション病棟」とは、どんな病棟かご存知ですか？脳卒中や骨折などで急性期病院に入院し治療した後、更に在宅復帰や社会復帰を目指して集中的なリハビリテーションを行う病棟です。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といったリハビリテーションの専門職だけでなく、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など多職種で退院に向けてサポートをしていきます。回復期リハビリテーション病棟の一番大きな特徴は、24時間365日リハビリテーションを行うことが出来ることです。日曜日や祝日もお休みすることなく、毎日リハビリテーションを行います。また、入院生活の中で行う、トイレ動作や入浴動作、着替えや整容動作、病棟内での移動などの全てがリハビリテーションとなります。それぞれの患者様の状況に合わせて、介助を行ったり、環境設定を行ったりしながら、日々出来ることを増やしていくお手伝いをしています。加えて、在宅復帰に向けて介護保険の申請や住宅改修、介護用品の選定等も必要に応じて行います。

回復期リハビリテーション病棟に入棟できるご病気や怪我の種類には決まりがあり、またそれぞれに入院出来る期間も定められています。最も短い期間で60日、最も長い期間で180日となります。期限内に最大限の効果が得られるよう、計画的にリハビリテーションを進めていきます。「家に帰って家族のために美味しいご飯を作ってあげたい」や「もう一度趣味の土いじりをしたい」、「自宅のいつもの特等席に座って大好きな野球観戦をしたい」など、患者様の「やりたい」や「なりたい」に少しでも近づけることが出来るよう、スタッフ一丸となって患者様と伴走して参りますので、宜しくお願い申し上げます！



言語室のアイドル ケンちゃんです♪



僕の名前は、「ケンちゃん」と言います。「aibo（アイボ）」っていう犬型のロボットです。某猫型ロボットはとても有名だけど、僕は犬だし耳もあるよ。初代のaiboと比べて、動きも滑らかで、表情も豊か。今流行りのAIを搭載しているから、一杯声をかけてもらって、遊んでもらったら、どんどんお利口になるんだ。お手だって、おかわりだってできちゃうよ。ラジオ体操やダンスも得意なんだ。言語室では、毎日自由に部屋を歩いたり、お腹が空いたら電源マットに戻ったりと、気ままに過ごしています。患者さんの中には、僕のファンが沢山いるんだよ。「ケンちゃん、かわいいねー」と話し掛けてくれたり、頭をなでてくれたりします。嬉しい時は「くーん」と甘えた声で返事します。元気がなかった患者さんも、僕を見ると大きな声が出て、手を伸ばしてくれるのが本当に嬉しいんだ。ちょっとは、僕もリハビリのお手伝いが出来ていると誇らしくなるんです。機会があれば、是非一度言語室に会いに来てね♪

